

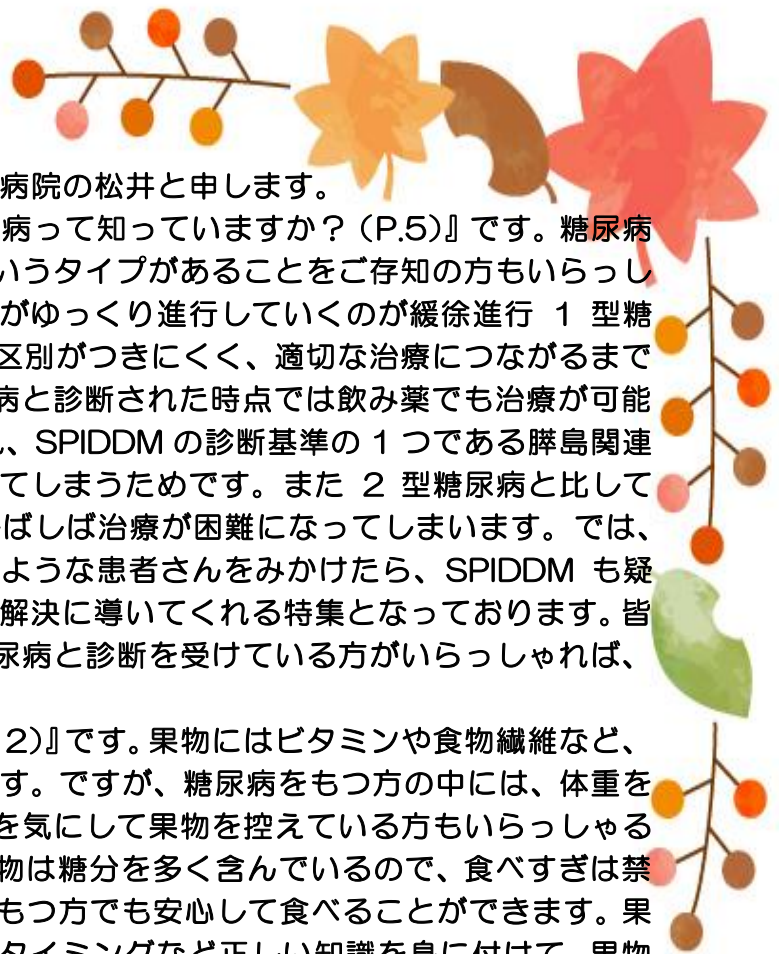


会員の皆さん、こんにちは。今年は観測史上最も遅い猛暑日が記録されるなど、9月になっても全国的に厳しい暑さが続いていました。このところようやく涼しくなってきましたが、気温差には気を付ける必要がありますね。

さて、先月の会報でお知らせしたように、つかさ会 秋の講演会を10月15日(日)に岐阜大学医学部記念会館で行います。受付締切を、10月10日(火)着まで延長します(電話受付も可)。体を動かしながら楽しく学べる講演会を企画しておりますので、奮ってご参加ください。

また、コロナ禍のためここ数年はオンラインで開催しておりましたウォークラリーが、今年は10月29日(日)に「歩いて学ぶ糖尿病 ウォークラリー-in 岐阜 2023」として関市の百年公園で開催されることとなりました。ご案内と申込用紙を同封いたしますので、こちらも奮ってご参加ください。

では今月は、4月から当科に入職した松井先生に、「さかえ」の読みどころを紹介していただきます。



はじめまして。岐阜大学医学部附属病院の松井と申します。

今回の特集1は『緩徐進行1型糖尿病って知っていますか？(P.5)』です。糖尿病には2型糖尿病の他に1型糖尿病というタイプがあることをご存知の方もいらっしゃるかもしれません。その中でも症状がゆっくり進行していくのが緩徐進行1型糖尿病(SPIDDM)です。2型糖尿病と区別がつきにくく、適切な治療につながるまでに時間がかかることがあります。糖尿病と診断された時点では飲み薬でも治療が可能であることから2型糖尿病と診断され、SPIDDMの診断基準の1つである膵島関連自己抗体を測定するタイミングを逃してしまうためです。また2型糖尿病と比してインスリン分泌の低下速度が速く、しばしば治療が困難になってしまいます。では、こうした状況に陥らないために、どのような患者さんをみかけたら、SPIDDMも疑えばよいのでしょうか？そんな疑問を解決に導いてくれる特集となっております。皆さんの中で、ご自身やご家族が2型糖尿病と診断を受けている方がいらっしゃれば、ぜひ参考にしてみてください。

特集2は『果物の上手なとり方(P.12)』です。果物にはビタミンや食物繊維など、体の機能を整える栄養素も含まれています。ですが、糖尿病をもつ方の中には、体重を増えることや、血糖値が上昇することを気にして果物を控えている方もいらっしゃるのではないのでしょうか？もちろん、果物は糖分を多く含んでいるので、食べすぎは禁物です。しかし適量であれば糖尿病をもつ方でも安心して食べることができます。果物の特徴や1日の摂取目安量、摂取のタイミングなど正しい知識を身に付けて、果物をおいしく楽しみましょう。果物を使った簡単レシピも紹介しています。果物を毎日の食生活に上手に取り入れて、旬を味わってみませんか？

最後に今月号から新連載として、『1型糖尿病と共に生きる僕(P.1)』が始まります。30代のときに1型糖尿病を発症され、現在は歌手やポカリスカールの校長など幅広く活躍されている HANZO さんがこれまでの半生を語ってくださいます。ぜひご一読ください。